

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 12 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 石黒 知美	
健福-19	実施事業	高齢者生活支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 高齢者いきいき課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	介護保険サービス利用者等
意図	介護保険法による軽減策とは別に、市独自で低所得者等に対する負担軽減策を講じるため。
効果	利用者や家族の経済的負担等を軽減し、介護サービス等を利用しやすくする。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・第2号被保険者のうち、要介護3～5の認定者または、要介護1・2の認定を受け失禁を伴う認知症のある方（いずれも低所得で在宅の方）に対し、紙おむつを支給した。 ・養成講座を受講したサポーターが高齢者を定期的・継続的に支援した。また、サポーターの養成及び利用希望者とのマッチングを行った。 ・社会福祉法人が運営する施設等の利用者で生活が困難な方に対し、利用者負担分を軽減する事業は、社会福祉法人の軽減額が補助対象額に達しなかったため、補助を行わなかった。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		データ区分	02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	122人							
運営資源状況	決算値(千円)	5,670	5,719	当初予算(千円)	5,352			
	国県支出金	0		国県支出金	18			
	地方債	0		地方債				
	その他	0	0	その他				
	一般財源	5,670	5,719	一般財源	5,334			
	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	0.5			
事業経費運営	人件費(千円)	3,951	4,039	人件費(千円)	4,036			
	総事業費(千円)	9,621	9,758	総事業費(千円)	9,388			
	市民1人当りの経費(円)	55	55	市民1人当りの経費(円)	53			
	対象者1人当りの経費(円)	78,861		対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2. 適正な受益者負担を導入している
			○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	協働実施済の場合のパートナー NPO法人 かまくら地域介護支援機構
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
			見直しの内容
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	高齢者生活支援サポートセンター事業は、介護保険の訪問介護事業とは提供内容が異なる保険外サービスとして高齢者の在宅生活におけるQOL(生活の質)を維持していく上で不可欠なものであることから、継続的に実施していく。
			事業へ統合
総評(評価に対する考え方、根拠等)	若年期(40～64歳)から、紙おむつを使用する状態の方を介護する家族にとって、日々使用する紙おむつの費用負担は重く、紙おむつ支給事業は、介護家族の経済的負担軽減に寄与していると考えており、継続的に実施していく。また、平成26年度からは、支給月あたりの費用額が7,000円を超えた場合、超えた額を利用者の負担とする受益者負担を導入しており、今後も継続して一定の負担は求めていく。 高齢者生活支援サポートセンター事業については、高齢者の在宅生活におけるQOL(生活の質)を維持していく上で不可欠な保険外サービスであり、継続的に実施していく。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	・利用者登録数に比べて、登録サポーター数が多い状況であり、登録サポーターが総合事業で実施する訪問型サービスAのヘルパーとして活動できるよう、引き続きサービス提供事業者やサービス利用者の増加に努めていく必要がある。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	・登録サポーターで研修を修了した者を、訪問型サービスAの担い手として、事業者と契約し、高齢者の生活支援体制の充実につなげるために、NPO、サービス提供事業者と調整を重ねたが、勤務条件や提供内容の相違等により実現に至らなかった。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き、登録サポーターが総合事業の訪問型サービスAのヘルパーとして活動できるよう、サポートセンター及びサービス提供事業者とは調整していく。利用者登録数(令和元年3月末現在 131人)に比べて、登録サポーター数(同 187人)が多い状況は続いているが、本事業は、介護保険の訪問介護とは、本来の目的や内容が全く異なるサービスとして、高齢者のQOLの向上に寄与していることから、本市独自の保険外サービスとして、更なる周知に努め、利用促進を図っていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	第2号被保険者に対する紙おむつ支給事業の実施の有無(令和元年度の実績)								
団体名	鎌倉市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市				
他市実績	有(6)	有(25)	有(4)	有(0)	有(0)				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	1号被保険者に対する紙おむつ支給事業は、国が定める「地域支援事業実施要綱」に基づき実施しているが、2号被保険者に対しては、介護保険事業としては実施できないため、実施の有無、対象者の条件等も市町村により異なるが、概ね近隣市町においても実施されている状況である。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	紙おむつ支給人数(第2号被保険者分。支給月ごとの平均値)					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
第2号被保険者に係る紙おむつ支給人数の推移の把握	目標値	-	-	-	-	-	-			
	実績値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0			
	達成率	-	-	-	-	-	-			

指標の内容	高齢者生活支援サポートセンター事業の利用者登録数(各年度末時点)					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
サポートセンター事業に係る利用状況の推移の把握	目標値	-	-	-	-	105.0	110.0			
	実績値	63.0	69.0	91.0	97.0	115.0	131.0			
	達成率	-	-	-	-	109.5%	119.1%			

指標の内容	高齢者生活支援サポートセンター事業のサポーター登録数(各年度末時点)					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
サポートセンター事業に係るサポーター登録状況の推移の把握	目標値	-	-	-	-	165.0	180.0			
	実績値	85.0	117.0	134.0	152.0	177.0	187.0			
	達成率	-	-	-	-	107.3%	103.9%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	紙おむつ支給事業、高齢者生活支援サポートセンター事業ともに、高齢者の在宅生活の支援につながるものであり、紙おむつ支給の対象者数は横ばい、サポートセンター事業の利用者は増加の傾向にあることから、今後も事業を継続していく。
-----------------------	---